

2-5. 通報・相談状況

「被害の潜在化」に特に着目し、警察への通報状況、相談相手・機関、通報・相談までに要した期間、相談しなかった理由、相談しやすくなるための条件、事件後に傷つけられた、支えられたと感じた経験と対象等について分析する。

(1)警察への通報状況

ア. 警察への通報の有無

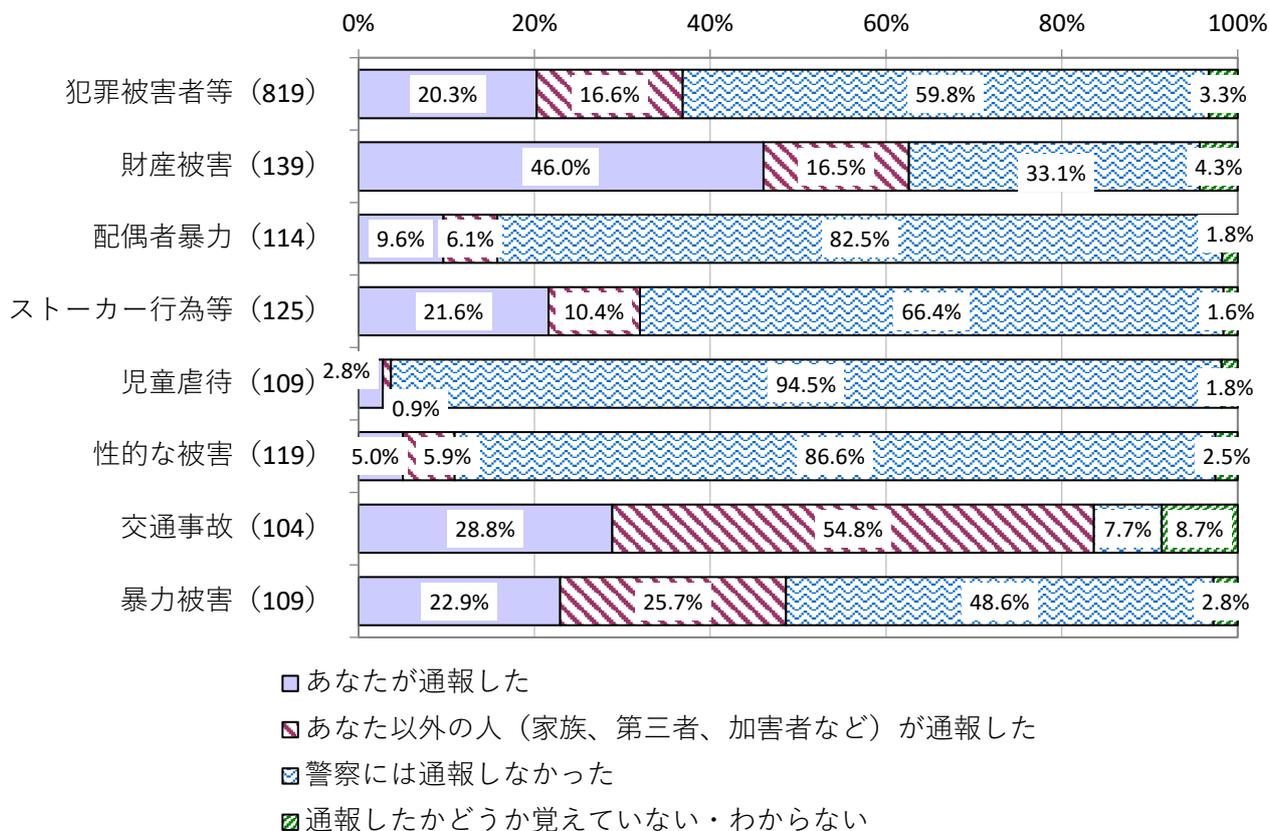
警察への通報の有無について、回答者又は家族が受けた被害を警察に通報した（「あなたが通報した」と「あなた以外の方が通報した」の和）との回答比率（＝警察への通報率）は、犯罪被害者等全体では36.9%で、犯罪被害類型別にみると、交通事故（83.6%）が最も高く、次いで財産被害（62.5%）となっている。一方、児童虐待（3.7%）、性的な被害（10.9%）、配偶者暴力（15.7%）では、その回答比率は低い（図表5-1）。

被害の時期別にみると、警察への通報率は、「3～10年以内」（53.9%）が最も高く、次いで「3年以内」（49.0%）、「それ以前」（30.7%）となっている（図表5-2）。

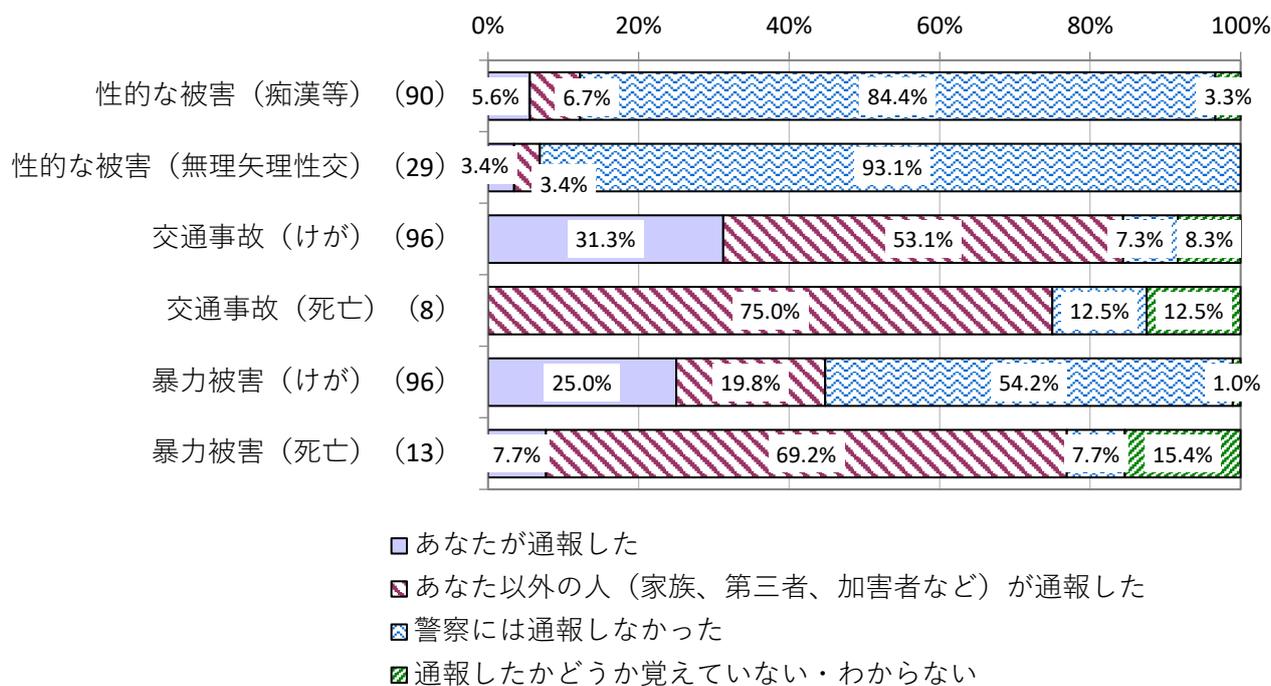
被害時の年齢別にみると、警察への通報率は、年齢が上がるほど高まる傾向がみられ、30代以降では約半数に及んでいる。また、「あなたが通報した」との回答比率は、0～15歳では低いが、16～18歳くらいから上昇しはじめている（図表5-3）。

加害者との面識の有無別にみると、警察への通報率は、「面識あり」が21.1%であるのに対し、「面識なし」は51.4%となっている（図表5-4）。

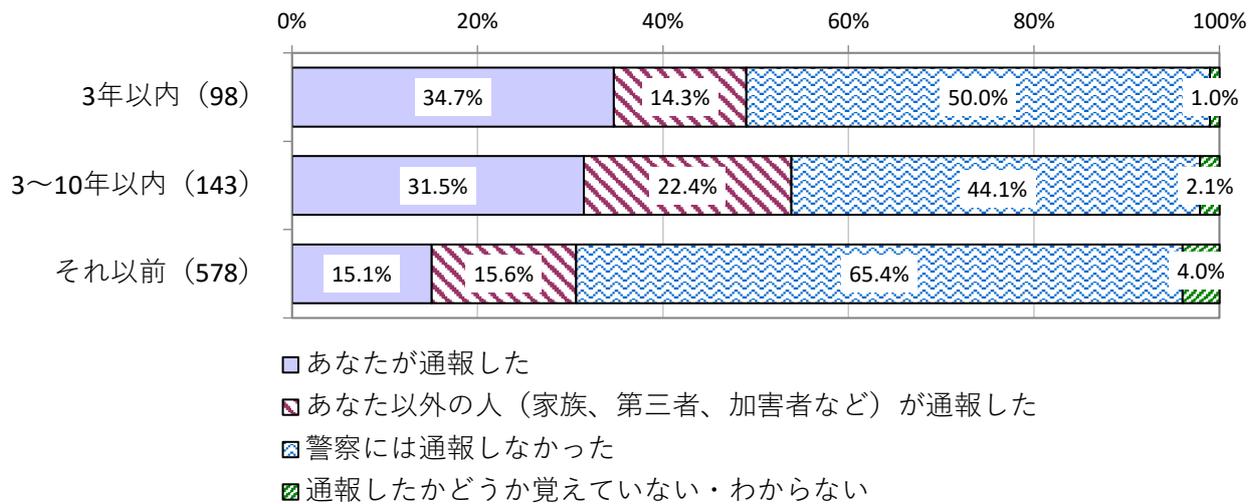
図表 5-1 犯罪被害類型別、警察への通報の有無【SC1/SC3、SC4】



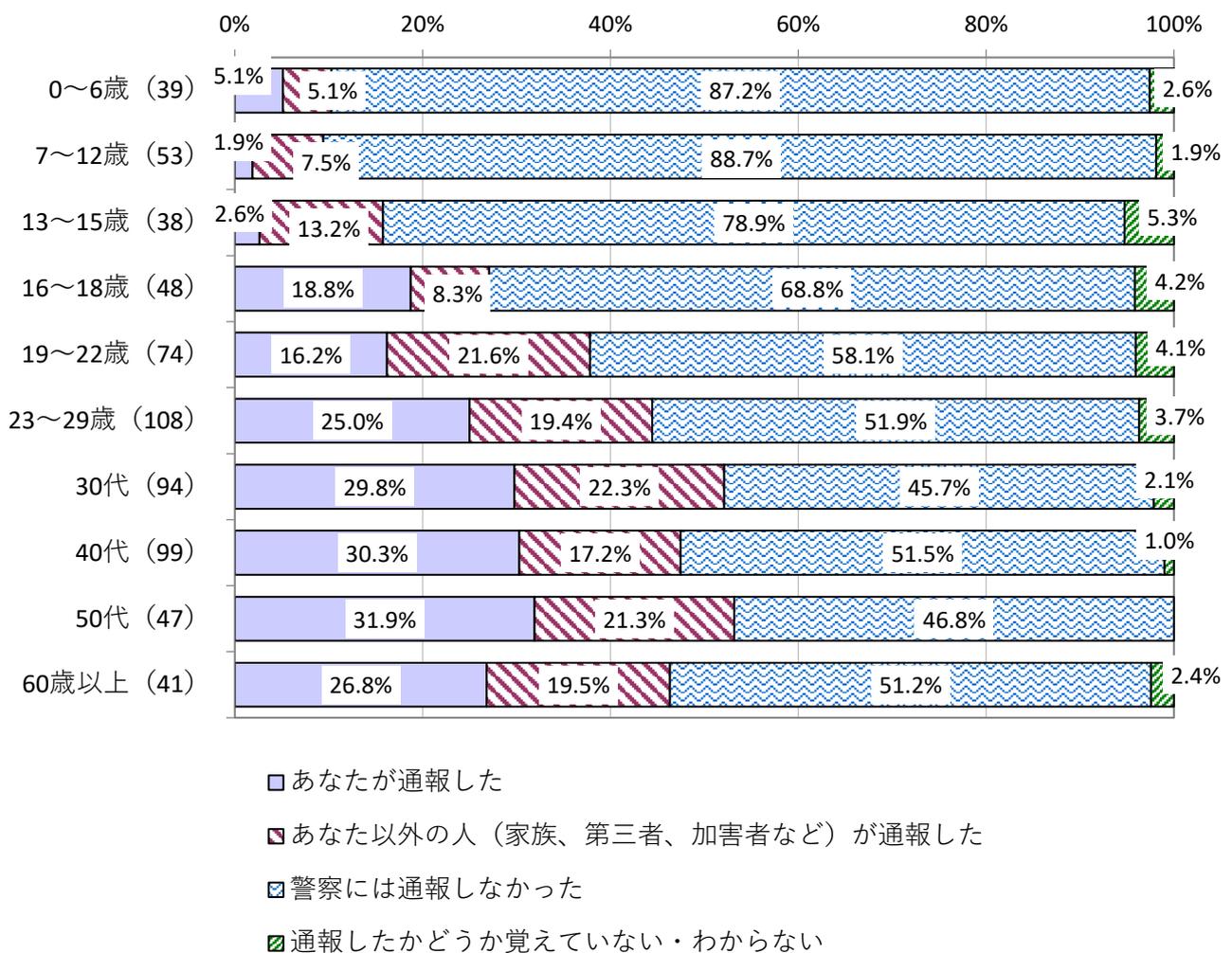
【参考】性的な被害、交通事故、暴力被害の更なる内訳



図表 5-2 被害の時期別、警察への通報の有無【SC2、SC4】

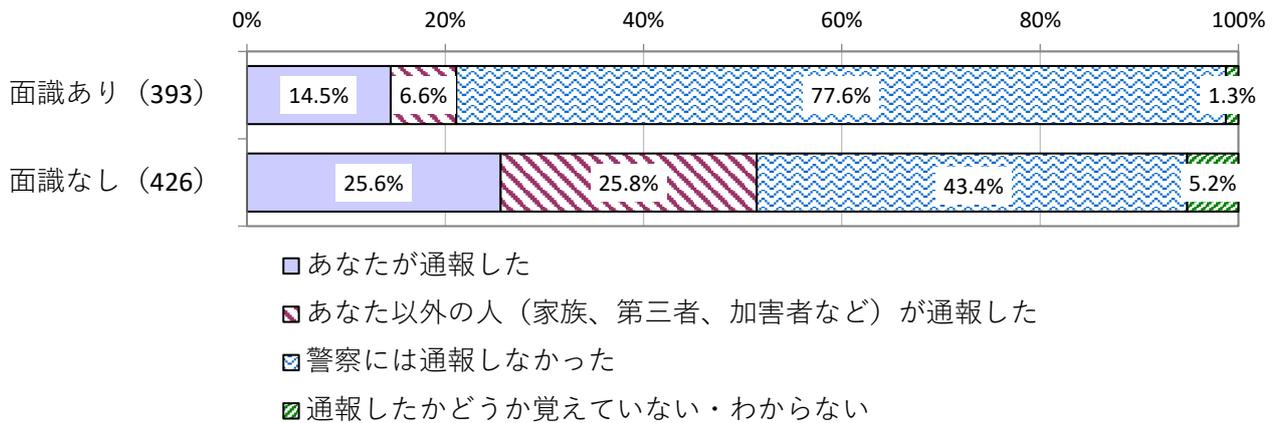


図表 5-3 被害時の年齢別、警察への通報の有無【Q1、SC4】



※対象：Q1（被害時の年齢）で「わからない」と回答した方（178人）を除く。

図表 5-4 加害者との面識の有無別、警察への通報の有無【Q3、SC4】



※面識あり：Q3（加害者との関係）で「全く無関係の人、知らない人」「わからない」「その他」以外を回答した方（393人）。

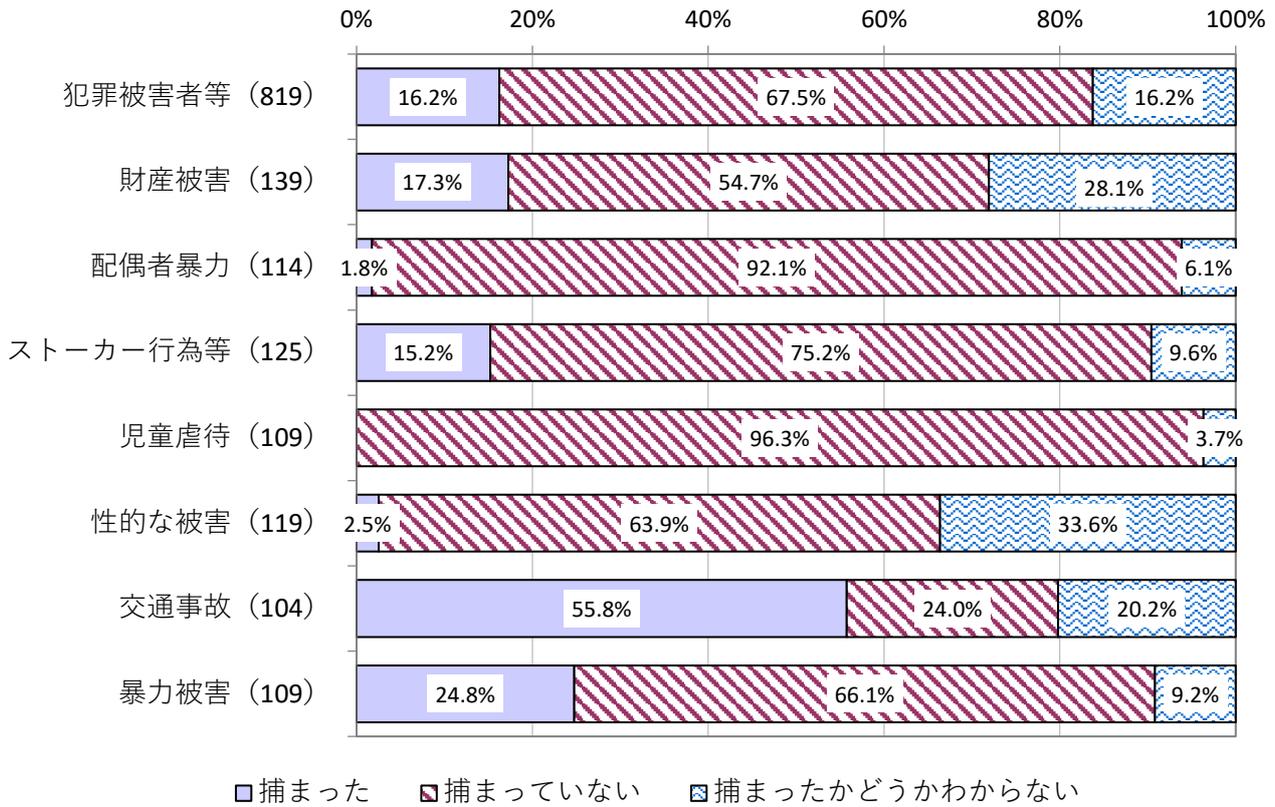
面識なし：Q3（加害者との関係）で「全く無関係の人、知らない人」「わからない」「その他」と回答した方（426人）。

※以降の同項目についての分類も同様。

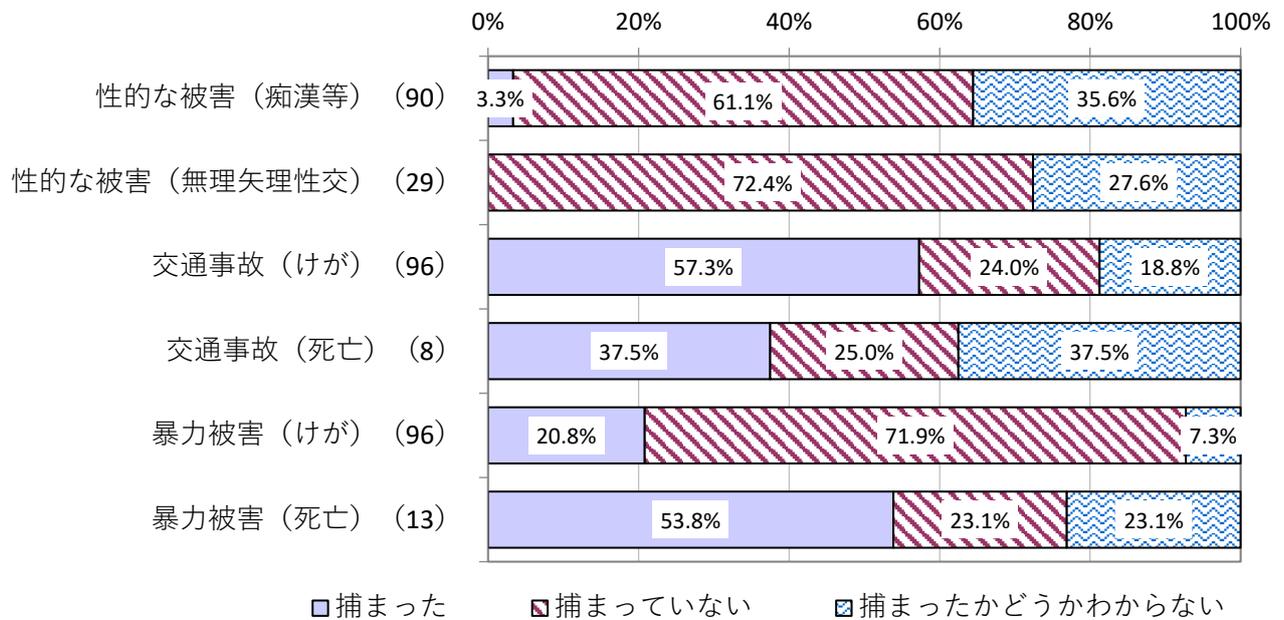
イ. 加害者の逮捕状況

加害者の逮捕状況について、犯罪被害類型別にみると、「捕まった」との回答比率は交通事故（55.8%）が最も高く、次いで暴力被害（24.8%）となっている。一方、児童虐待（0.0%）、配偶者暴力（1.8%）、性的な被害（2.5%）は、その回答比率が極端に低くなっている（図表5-5）。

図表 5-5 犯罪被害類型別、加害者の逮捕状況【SC1/SC3、SC6】



【参考】性的な被害、交通事故、暴力被害の更なる内訳



(2)相談相手・機関

ア. 初めて被害にあった際の相談相手・機関

初めて被害にあった際の相談状況について、「相談なし」との回答比率は、犯罪被害者等全体では44.2%で、犯罪被害類型別にみると、児童虐待(84.4%)が最も高く、次いで性的な被害(51.3%)、配偶者暴力(50.9%)となっている。また、相談相手・機関については、「家族」との回答比率がストーカー(45.6%)、財産被害(45.3%)、交通事故(41.3%)、「友人・知人」との回答比率がストーカー(40.0%)、「専門機関」との回答比率が財産被害(30.9%)、暴力被害(29.4%)、交通事故(28.8%)で高くなっている(図表5-6)。

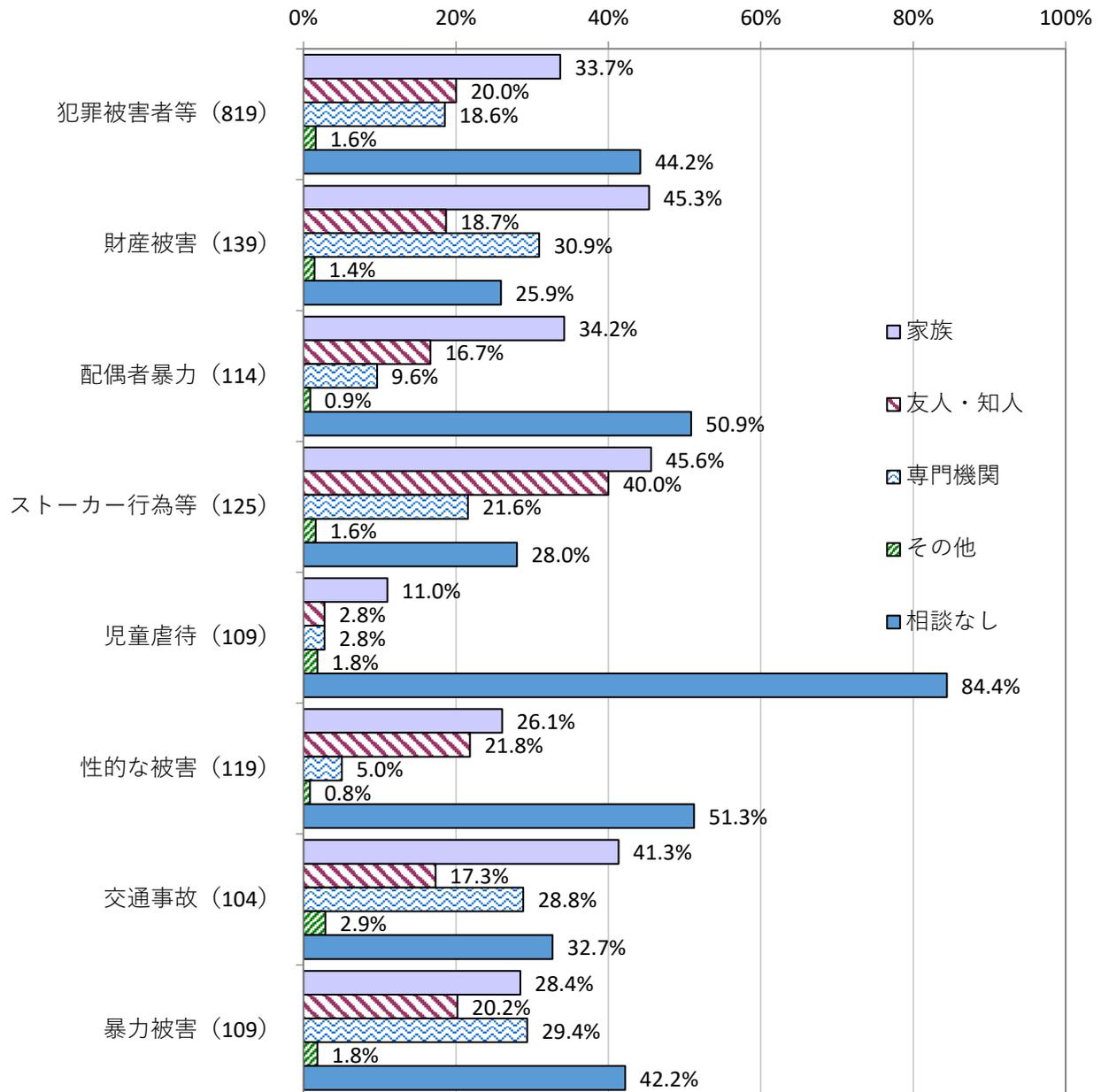
被害の時期別にみると、「相談なし」との回答比率が、「それ以前」(50.7%)、「3～10年以内」(30.8%)、「3年以内」(25.5%)と、近年になるほど低くなっている。相談相手・機関については、「家族」との回答比率が高く、「家族」「専門機関」との回答比率はともに近年になるほど高くなっている(図表5-7)。

被害時の年齢別にみると、多くの世代で「家族」との回答比率が高いが、0～12歳では「相談なし」との回答比率が非常に高く、23～29歳以降は「専門機関」との回答比率も比較的高くなっている(図表5-8)。

加害者との面識の有無別にみると、「相談なし」との回答比率は「面識あり」(51.9%)が「面識なし」(37.1%)より高く、「専門機関」との回答比率は「面識あり」(11.7%)が「面識なし」(24.9%)を下回っている(図表5-9)。

図表 5-6 犯罪被害類型別、初めて被害にあった際の相談相手・機関（複数回答）【SC1/SC3、SC5】

【5分類】



※5分類…【家族】父、母、配偶者、兄弟姉妹、それ以外の家族・親族／【友人・知人】勤務先の同僚・友人、勤務先の上司、学校などの友人、学校の先生・学生相談室・スクールカウンセラー、学校・勤務先以外の友人、交際相手／【専門機関】弁護士・日本司法支援センター（法テラス）、地方公共団体の総合的対応窓口、児童相談所、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター、その他の行政機関・福祉機関の相談窓口、警察、民間の犯罪被害者支援団体、医療機関／【その他】／【相談なし】

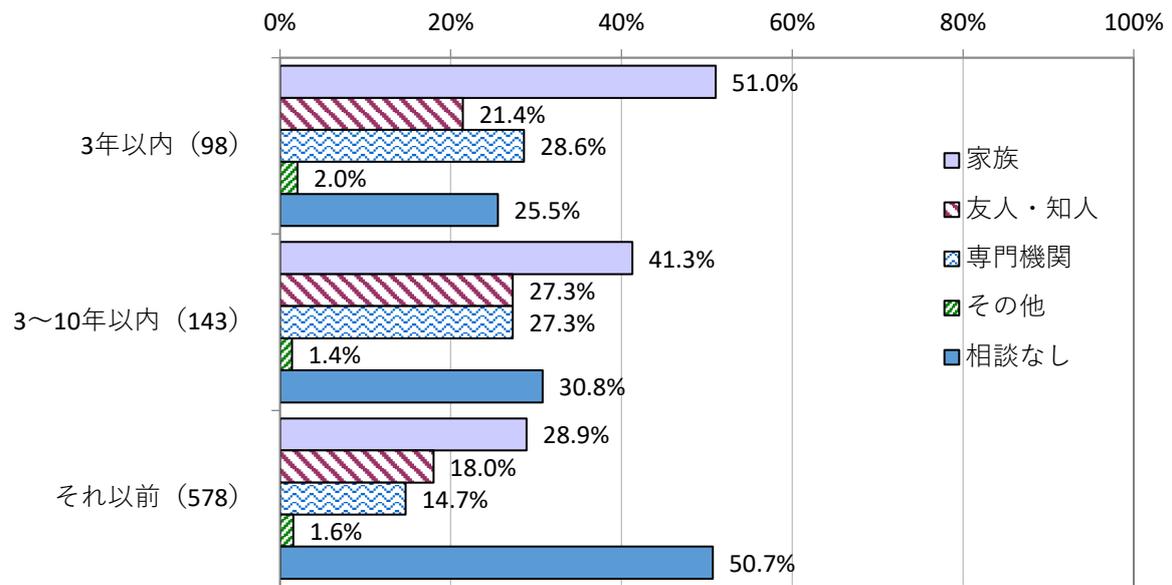
※以降の同項目についての分類も同様。

【21分類】

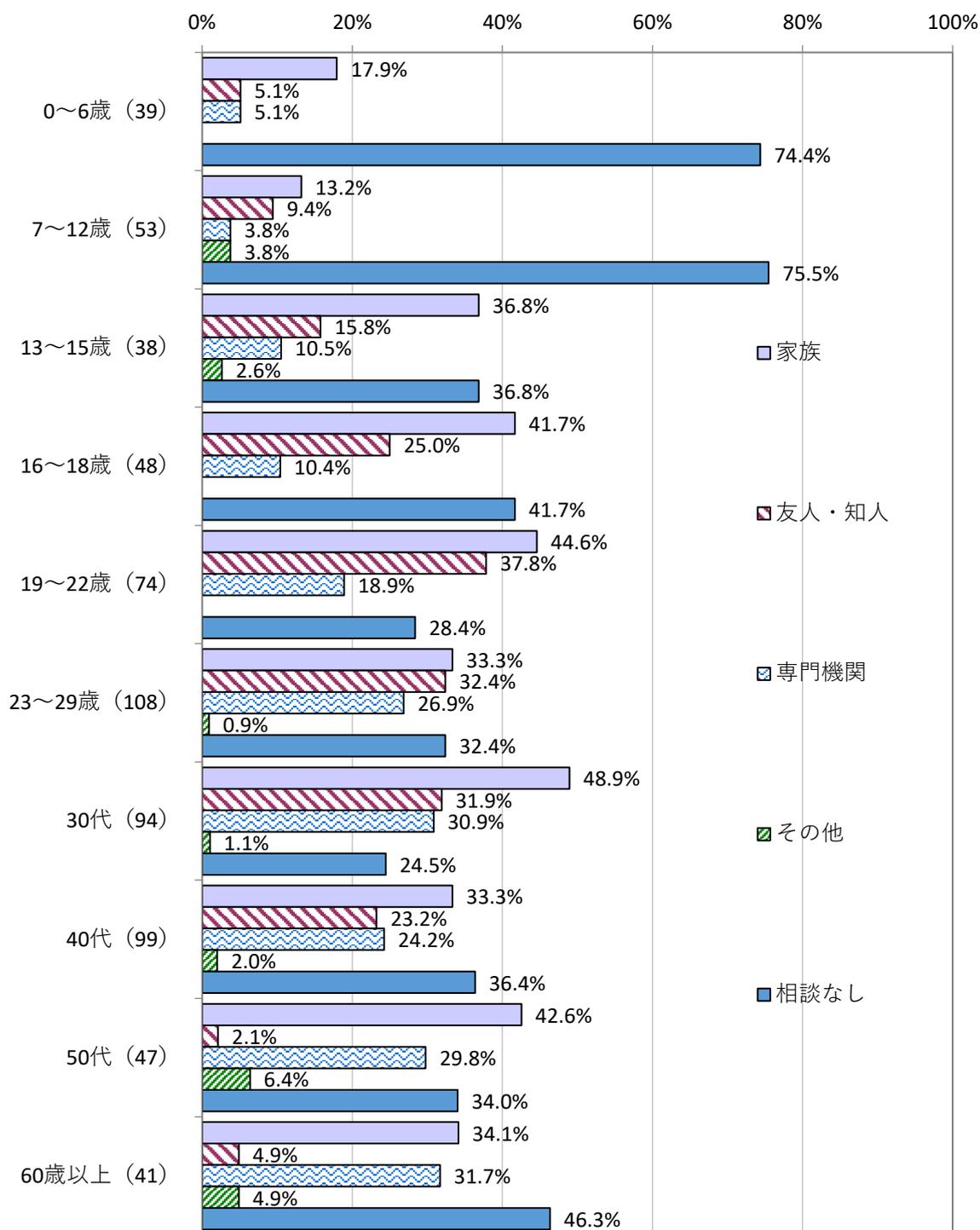
	全体	父	母	配偶者	兄弟姉妹	それ以外の家族・親族	勤務先の同僚・友人など	勤務先の上司など	学校などの友人	学校の先生・学生相談室・スクールカウンセラーなど	学校・勤務先以外の友人など
犯罪被害者等	819	100 (12.2%)	146 (17.8%)	90 (11.0%)	47 (5.7%)	24 (2.9%)	57 (7.0%)	42 (5.1%)	49 (6.0%)	8 (1.0%)	22 (2.7%)
財産被害	139	21 (15.1%)	25 (18.0%)	29 (20.9%)	8 (5.8%)	5 (3.6%)	11 (7.9%)	6 (4.3%)	9 (6.5%)	0 (0.0%)	4 (2.9%)
配偶者暴力	114	16 (14.0%)	26 (22.8%)	1 (0.9%)	13 (11.4%)	7 (6.1%)	6 (5.3%)	3 (2.6%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	5 (4.4%)
ストーカー行為等	125	19 (15.2%)	33 (26.4%)	26 (20.8%)	5 (4.0%)	3 (2.4%)	23 (18.4%)	13 (10.4%)	14 (11.2%)	0 (0.0%)	7 (5.6%)
児童虐待	109	1 (0.9%)	5 (4.6%)	0 (0.0%)	4 (3.7%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)
性的な被害	119	10 (8.4%)	25 (21.0%)	4 (3.4%)	7 (5.9%)	3 (2.5%)	7 (5.9%)	2 (1.7%)	11 (9.2%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
交通事故	104	17 (16.3%)	16 (15.4%)	23 (22.1%)	4 (3.8%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)	10 (9.6%)	1 (1.0%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)
暴力被害	109	16 (14.7%)	16 (14.7%)	7 (6.4%)	6 (5.5%)	2 (1.8%)	7 (6.4%)	8 (7.3%)	6 (5.5%)	4 (3.7%)	2 (1.8%)

	交際相手	弁護士・日本司法支援センター(法テラス)	地方公共団体の総合的対応窓口	児童相談所	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	その他の行政機関・福祉機関の相談窓口	警察	民間の犯罪被害者支援団体	医療機関	その他	どこにも(誰にも)相談していない
犯罪被害者等	21 (2.6%)	25 (3.1%)	6 (0.7%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	6 (0.7%)	116 (14.2%)	7 (0.9%)	19 (2.3%)	13 (1.6%)	362 (44.2%)
財産被害	2 (1.4%)	6 (4.3%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	37 (26.6%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	36 (25.9%)
配偶者暴力	0 (0.0%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	5 (4.4%)	2 (1.8%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)	58 (50.9%)
ストーカー行為等	8 (6.4%)	5 (4.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	21 (16.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	35 (28.0%)
児童虐待	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	92 (84.4%)
性的な被害	8 (6.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	61 (51.3%)
交通事故	2 (1.9%)	7 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	20 (19.2%)	0 (0.0%)	9 (8.7%)	3 (2.9%)	34 (32.7%)
暴力被害	1 (0.9%)	5 (4.6%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	26 (23.9%)	1 (0.9%)	5 (4.6%)	2 (1.8%)	46 (42.2%)

図表 5-7 被害の時期別、初めて被害にあった際の相談相手・機関（複数回答）【SC2、SC5】

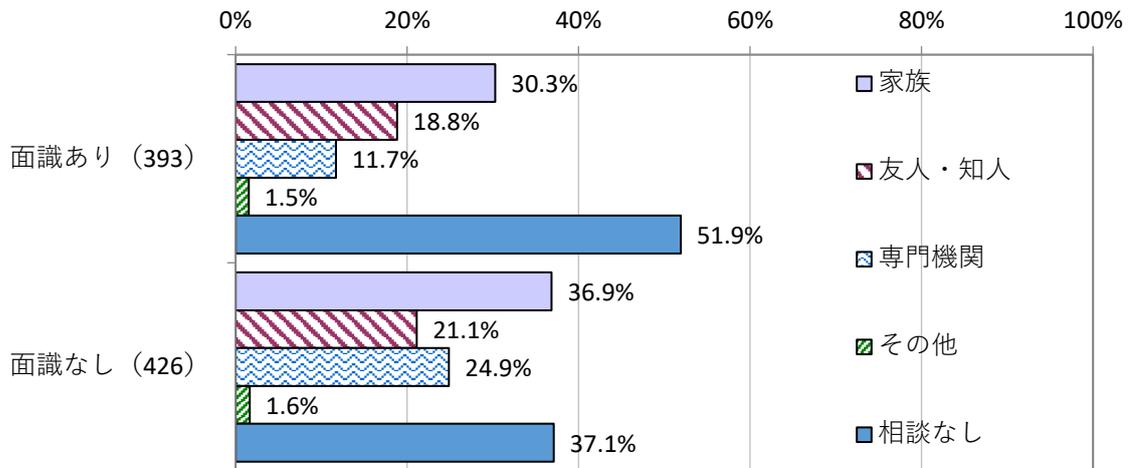


図表 5-8 被害時の年齢別、初めて被害にあった際の相談相手・機関（複数回答）【Q1、SC5】



※対象：Q1（被害時の年齢）で「わからない」と回答した方（178人）を除く。

図表 5-9 加害者との面識別、初めて被害にあった際の相談相手・機関（複数回答）【Q3、SC5】



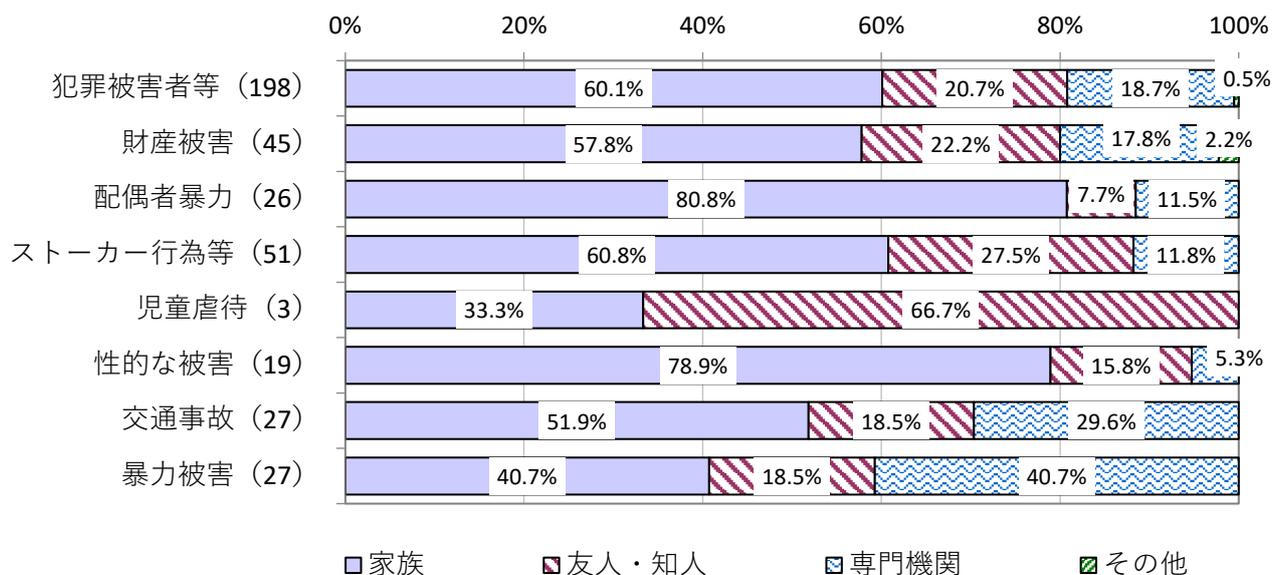
イ. 最初に相談した相手・機関

初めて被害にあった際に最初に相談した相手・機関について、犯罪被害類型別にみると、多くの類型で「家族」との回答比率が高い（図表 5-10）。

被害の時期別にみると、全ての時期で「家族」との回答比率が高い。「友人・知人」は、「3年以内」（5.3%）に対し、「3～10年以内」「それ以前」（それぞれ 20.0%、26.1%）の回答比率が高く、「専門機関」は、「3～10年以内」「それ以前」（同 15.6%、17.4%）に対し、「3年以内」（26.3%）の回答比率が高くなっている（図表 5-11）。

図表 5-10 犯罪被害類型別、初めて被害にあった際に最初に相談した相手・機関【SC1/SC3、Q9】

【4分類】



※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」以外に複数選択した方（198人）のみ。

※4分類…【家族】父、母、配偶者、兄弟姉妹、それ以外の家族・親族／【友人・知人】勤務先と同僚・友人、勤務先の上司、学校などの友人、学校の先生・学生相談室・スクールカウンセラー、学校・勤務先以外の友人、交際相手／【専門機関】弁護士・日本司法支援センター（法テラス）、地方公共団体の総合的対応窓口、児童相談所、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター、その他の行政機関・福祉機関の相談窓口、警察、民間の犯罪被害者支援団体、医療機関／【その他】

※以降の同項目についての分類も同様。

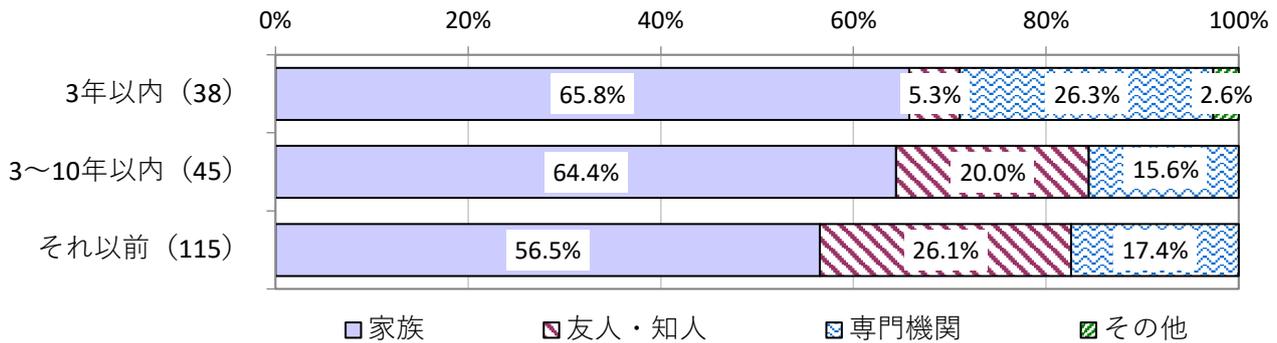
【20分類】

	全体	父	母	配偶者	兄弟姉妹	それ以外の家族・親族	勤務先と同僚・友人など	勤務先の上司など	学校などの友人	学校の先生・学生相談室・スクールカウンセラーなど	学校・勤務先以外の友人など
犯罪被害者等	198	22 (11.1%)	58 (29.3%)	24 (12.1%)	11 (5.6%)	4 (2.0%)	20 (10.1%)	2 (1.0%)	11 (5.6%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
財産被害	45	7 (15.6%)	7 (15.6%)	8 (17.8%)	4 (8.9%)	0 (0.0%)	7 (15.6%)	0 (0.0%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
配偶者暴力	26	3 (11.5%)	16 (61.5%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ストーカー行為等	51	3 (5.9%)	17 (33.3%)	9 (17.6%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	6 (11.8%)	1 (2.0%)	2 (3.9%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
児童虐待	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
性的な被害	19	2 (10.5%)	9 (47.4%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
交通事故	27	4 (14.8%)	4 (14.8%)	5 (18.5%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
暴力被害	27	3 (11.1%)	5 (18.5%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)

	交際相手	弁護士・日本司法支援センター（法テラス）	地方公共団体の総合的対応窓口	児童相談所	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	その他の行政機関・福祉機関の相談窓口	警察	民間の犯罪被害者支援団体	医療機関	その他
犯罪被害者等	6 (3.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	26 (13.1%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)
財産被害	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (13.3%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)
配偶者暴力	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)
ストーカー行為等	4 (7.8%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.8%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
児童虐待	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
性的な被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
交通事故	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (22.2%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)
暴力被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	8 (29.6%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」以外に複数選択した方（198人）のみ。

図表 5-1 1 被害の時期別、最初の相談相手・機関【SC2、Q9】



※対象：SC 5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」以外に複数選択した方（198人）のみ。

(3) 通報・相談までに要した期間

被害にあってから最初に通報・相談するまでに要した期間について、犯罪被害類型別にみると、交通事故、性的な被害、財産被害、暴力被害は1日未満（「1時間未満」と「1時間以上1日未満」の和）との回答比率が高い。一方、配偶者暴力では「1日以上1週間未満」、ストーカーでは「1週間以上1か月未満」、児童虐待では「3年以上」との回答比率が高い（図表 5-1 2）。

被害の時期別にみると、1日未満との回答比率が、「それ以前」では52.9%、「3～10年以内」では41.4%、「3年以内」では35.6%と、近年になるほど低くなっている（図表 5-1 3）。

加害者との面識の有無別にみると、1日未満との回答比率が「面識なし」では69.4%となっている一方で、「面識あり」では17.0%となっている（図表 5-1 4）。

図表 5-1 2 犯罪被害類型別、最初に通報・相談するまでに要した期間【SC1/SC3、Q10】

	全体	1時間未満	1時間以上1日未満	1日以上1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	わからない
犯罪被害者等	457	131 (28.7%)	87 (19.0%)	47 (10.3%)	40 (8.8%)	28 (6.1%)	14 (3.1%)	18 (3.9%)	20 (4.4%)	72 (15.8%)
財産被害	103	37 (35.9%)	28 (27.2%)	10 (9.7%)	9 (8.7%)	7 (6.8%)	4 (3.9%)	2 (1.9%)	1 (1.0%)	5 (4.9%)
配偶者暴力	56	3 (5.4%)	6 (10.7%)	9 (16.1%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)	4 (7.1%)	6 (10.7%)	6 (10.7%)	17 (30.4%)
ストーカー行為等	90	10 (11.1%)	7 (7.8%)	14 (15.6%)	23 (25.6%)	13 (14.4%)	5 (5.6%)	4 (4.4%)	2 (2.2%)	12 (13.3%)
児童虐待	17	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	8 (47.1%)
性的な被害	58	23 (39.7%)	13 (22.4%)	5 (8.6%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	13 (22.4%)
交通事故	70	35 (50.0%)	23 (32.9%)	2 (2.9%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (11.4%)
暴力被害	63	22 (34.9%)	10 (15.9%)	6 (9.5%)	6 (9.5%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	6 (9.5%)	9 (14.3%)

※対象：SC 5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）を除く。

【参考】性的な被害、交通事故、暴力被害の更なる内訳

		全体	1時間未満	1時間以上1日未満	1日以上1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	わからない
性的な被害	痴漢等	45	23 (51.1%)	11 (24.4%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (20.0%)
	無理矢理性交	13	0 (0.0%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)
交通事故	けが	66	34 (51.5%)	22 (33.3%)	2 (3.0%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (9.1%)
	死亡	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
暴力被害	けが	56	20 (35.7%)	9 (16.1%)	5 (8.9%)	5 (8.9%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	5 (8.9%)	8 (14.3%)
	死亡	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)

図表 5-13 被害の時期別、最初に通報・相談するまでに要した期間【SC2、Q10】

	全体	1時間未満	1時間以上1日未満	1日以上1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	わからない
3年以内	73	16 (21.9%)	10 (13.7%)	10 (13.7%)	9 (12.3%)	9 (12.3%)	2 (2.7%)	6 (8.2%)	3 (4.1%)	8 (11.0%)
3～10年以内	99	20 (20.2%)	21 (21.2%)	11 (11.1%)	14 (14.1%)	11 (11.1%)	5 (5.1%)	2 (2.0%)	3 (3.0%)	12 (12.1%)
それ以前	285	95 (33.3%)	56 (19.6%)	26 (9.1%)	17 (6.0%)	8 (2.8%)	7 (2.5%)	10 (3.5%)	14 (4.9%)	52 (18.2%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）を除く。

図表 5-14 加害者との面識の有無別、最初に通報・相談するまでに要した期間【Q3、Q10】

	全体	1時間未満	1時間以上1日未満	1日以上1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	わからない
面識あり	189	16 (8.5%)	16 (8.5%)	27 (14.3%)	28 (14.8%)	23 (12.2%)	11 (5.8%)	14 (7.4%)	16 (8.5%)	38 (20.1%)
面識なし	268	115 (42.9%)	71 (26.5%)	20 (7.5%)	12 (4.5%)	5 (1.9%)	3 (1.1%)	4 (1.5%)	4 (1.5%)	34 (12.7%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）を除く。

(4)相談しなかった理由

ア. 警察に通報・相談しなかった理由

警察に通報・相談しなかった理由について、犯罪被害類型別にみると、ストーカー、財産被害、暴力被害では「どうせとりあってももらえないと思ったから」（それぞれ44.0%、33.3%、30.9%）、交通事故、配偶者暴力では「警察に相談するほどの被害ではないと思ったから」（同56.3%、40.0%）、児童虐待、性的な被害では「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」（同77.1%、35.2%）との回答比率が最も高くなっている（図表5-15）。

被害の時期別にみると、「3年以内」では「警察に相談するほどの被害ではないと思ったから」（44.9%）、「3～10年以内」では「どうせとりあってももらえないと思ったから」（43.1%）、「それ以前」では「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」（35.5%）との回答比率が最も高くなっている。なお、本調査の対象者は20歳以上であり、低年齢に相当する年齢で近年に被害にあった犯罪被害者等が含まれていないことが考えられるほか、児童虐待の犯罪被害者等は被害時に低年齢の割合が「それ以前」に多くなるとも考えられる（図表5-16）。

加害者との面識の有無別にみると、「面識あり」では「警察に相談できることだと思わなかったから」（35.4%）との回答比率が最も高く、次いで「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」（32.8%）となっている。「面識なし」では「警察に相談するほどの被害ではないと思ったから」（32.5%）が最も高く、次いで「どうせとりあってももらえないと思ったから」「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」（それぞれ25.6%）となっている（図表5-17）。

図表 5-15 犯罪被害類型別、警察に相談しなかった理由（複数回答）【SC1/SC3、Q8】

	全体	警察に相談できることだと思わなかったから	どうせとりあってももらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから・急いでおり時間がなかったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがつらかったから	相手が処罰されてしまうかもしれないから	警察に相談するほどの被害ではないと思ったから	警察に相談してから物事が進むのか予想ができないから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	その他
犯罪被害者等	511	146 (28.6%)	147 (28.8%)	54 (10.6%)	69 (13.5%)	53 (10.4%)	25 (4.9%)	150 (29.4%)	69 (13.5%)	153 (29.9%)	50 (9.8%)
財産被害	51	11 (21.6%)	17 (33.3%)	10 (19.6%)	4 (7.8%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	14 (27.5%)	4 (7.8%)	6 (11.8%)	9 (17.6%)
配偶者暴力	95	33 (34.7%)	32 (33.7%)	15 (15.8%)	20 (21.1%)	11 (11.6%)	8 (8.4%)	38 (40.0%)	18 (18.9%)	3 (3.2%)	8 (8.4%)
ストーカー行為等	84	26 (31.0%)	37 (44.0%)	10 (11.9%)	16 (19.0%)	10 (11.9%)	6 (7.1%)	35 (41.7%)	20 (23.8%)	8 (9.5%)	5 (6.0%)
児童虐待	105	43 (41.0%)	22 (21.0%)	1 (1.0%)	7 (6.7%)	7 (6.7%)	4 (3.8%)	14 (13.3%)	8 (7.6%)	81 (77.1%)	7 (6.7%)
性的な被害	105	18 (17.1%)	22 (21.0%)	10 (9.5%)	17 (16.2%)	16 (15.2%)	3 (2.9%)	31 (29.5%)	12 (11.4%)	37 (35.2%)	9 (8.6%)
交通事故	16	1 (6.3%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	9 (56.3%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	5 (31.3%)
暴力被害	55	14 (25.5%)	17 (30.9%)	6 (10.9%)	4 (7.3%)	8 (14.5%)	3 (5.5%)	9 (16.4%)	7 (12.7%)	14 (25.5%)	7 (12.7%)

※対象：SC4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつSC5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

【参考】性的な被害、交通事故、暴力被害の更なる内訳

	全体	警察に相談できることだと思わなかったから	どうせとりあててもらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから・急いでおり時間がなかったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがづらかったから	相手が処罰されてしまうかもしれないから	警察に相談するほどの被害ではないと思ったから	警察に相談してから物事がどのように進むのかわからないから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	その他
性的な被害											
痴漢等	78	10 (12.8%)	14 (17.9%)	8 (10.3%)	8 (10.3%)	10 (12.8%)	0 (0.0%)	25 (32.1%)	9 (11.5%)	29 (37.2%)	6 (7.7%)
無理矢理性交	27	8 (29.6%)	8 (29.6%)	2 (7.4%)	9 (33.3%)	6 (22.2%)	3 (11.1%)	6 (22.2%)	3 (11.1%)	8 (29.6%)	3 (11.1%)
交通事故											
けが	14	1 (7.1%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	9 (64.3%)	0 (0.0%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)
死亡	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
暴力被害											
けが	52	14 (26.9%)	17 (32.7%)	6 (11.5%)	4 (7.7%)	7 (13.5%)	3 (5.6%)	9 (17.3%)	7 (13.5%)	12 (23.1%)	7 (13.5%)
死亡	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)

図表 5-16 被害の時期別、警察に相談しなかった理由（複数回答）【SC2、Q8】

	全体	警察に相談できることだと思わなかったから	どうせとりあててもらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから・急いでおり時間がなかったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがづらかったから	相手が処罰されてしまうかもしれないから	警察に相談するほどの被害ではないと思ったから	警察に相談してから物事がどのように進むのかわからないから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	その他
3年以内	49	11 (22.4%)	19 (38.8%)	6 (12.2%)	12 (24.5%)	8 (16.3%)	4 (8.2%)	22 (44.9%)	11 (22.4%)	2 (4.1%)	1 (2.0%)
3～10年以内	65	20 (30.8%)	28 (43.1%)	11 (16.9%)	13 (20.0%)	10 (15.4%)	5 (7.7%)	17 (26.2%)	11 (16.9%)	10 (15.4%)	7 (10.8%)
それ以前	397	115 (29.0%)	100 (25.2%)	37 (9.3%)	44 (11.1%)	35 (8.8%)	16 (4.0%)	111 (28.0%)	47 (11.8%)	141 (35.5%)	42 (10.6%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

図表 5-17 加害者との面識の有無別、警察に相談しなかった理由（複数回答）【Q3、Q8】

	全体	警察に相談できることだと思わなかったから	どうせとりあててもらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから・急いでおり時間がなかったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがづらかったから	相手が処罰されてしまうかもしれないから	警察に相談するほどの被害ではないと思ったから	警察に相談してから物事がどのように進むのかわからないから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	その他
面識あり	308	109 (35.4%)	95 (30.8%)	31 (10.1%)	52 (16.9%)	36 (11.7%)	24 (7.8%)	84 (27.3%)	47 (15.3%)	101 (32.8%)	22 (7.1%)
面識なし	203	37 (18.2%)	52 (25.6%)	23 (11.3%)	17 (8.4%)	17 (8.4%)	1 (0.5%)	66 (32.5%)	22 (10.8%)	52 (25.6%)	28 (13.8%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

イ. どこにも(誰にも)相談しなかった理由

どこにも(誰にも)相談しなかった理由について、犯罪被害類型別にみると、財産被害では「相談するほどのことではないと思った」「言っても何もしてくれない・役に立たないと思った」(それぞれ22.2%)、ストーカー、配偶者暴力では「相談するほどのことではないと思った」(同37.1%、34.5%)、児童虐待、性的な被害では「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」(同68.5%、31.1%)、交通事故では「特に理由はない」(44.1%)、暴力被害では「どこに相談すればよいかわからなかった」(26.1%)との回答比率が最も高くなっている(図表5-18)。

被害の時期別にみると、「3年以内」では「言っても何もしてくれない・役に立たないと思った」(32.0%)、「3～10年以内」では「どこに相談すればよいかわからなかった」(31.8%)、「それ以前」では「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」(31.1%)との回答比率が最も高くなっている。なお、本調査の対象者は20歳以上であり、低年齢に相当する年齢で近年に被害にあった犯罪被害者等が含まれていないことが考えられるほか、児童虐待の犯罪被害者等は被害時に低年齢の割合が「それ以前」に多くなるとも考えられる(図表5-19)。

加害者との面識の有無別にみると、「面識あり」では「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」(31.9%)との回答比率が最も高く、次いで「どこに相談すればよいかわからなかった」(27.5%)、「相談するほどのことではないと思った」(20.6%)となっている。「面識なし」では「相談するほどのことではないと思った」(22.2%)との回答比率が最も高く、次いで「特に理由はない」(21.5%)、「低年齢であったため、相談することを思い至らなかった」(19.0%)となっている(図表5-20)。

図表 5-18 犯罪被害類型別、どこにも（誰にも）相談しなかった理由（複数回答）【SC1/SC3、Q11】

	全体	どこに相談すればよいかわからなかった	自分が被害に あっていること に気付かなか った	相談するほど のことではない と思った	自分で解決で きると思った	被害について 誰かに話すこ とが恥ずかし かった	他人に知られ たくなかった	おおごとにし たくなかった
犯罪被害者等	362	84 (23.2%)	45 (12.4%)	77 (21.3%)	43 (11.9%)	45 (12.4%)	50 (13.8%)	54 (14.9%)
財産被害	36	7 (19.4%)	5 (13.9%)	8 (22.2%)	2 (5.6%)	2 (5.6%)	5 (13.9%)	4 (11.1%)
配偶者暴力	58	17 (29.3%)	6 (10.3%)	20 (34.5%)	13 (22.4%)	9 (15.5%)	9 (15.5%)	14 (24.1%)
ストーカー行為等	35	4 (11.4%)	4 (11.4%)	13 (37.1%)	11 (31.4%)	4 (11.4%)	6 (17.1%)	8 (22.9%)
児童虐待	92	26 (28.3%)	26 (28.3%)	9 (9.8%)	1 (1.1%)	8 (8.7%)	10 (10.9%)	11 (12.0%)
性的な被害	61	12 (19.7%)	2 (3.3%)	16 (26.2%)	2 (3.3%)	15 (24.6%)	18 (29.5%)	13 (21.3%)
交通事故	34	6 (17.6%)	1 (2.9%)	5 (14.7%)	7 (20.6%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)
暴力被害	46	12 (26.1%)	1 (2.2%)	6 (13.0%)	7 (15.2%)	6 (13.0%)	2 (4.3%)	3 (6.5%)

	言っても何も してくれない 役に立たな いと思った	加害者からの 仕返しがか つた	加害者から相 談するなと脅 されていた	自分が悪いと 思った、自分 に責任がある と思った	低年齢であ ったため、相 談することを 思い至らな かった	特に理由はな い	その他
犯罪被害者等	63 (17.4%)	40 (11.0%)	7 (1.9%)	35 (9.7%)	95 (26.2%)	48 (13.3%)	12 (3.3%)
財産被害	8 (22.2%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)
配偶者暴力	14 (24.1%)	9 (15.5%)	2 (3.4%)	5 (8.6%)	0 (0.0%)	4 (6.9%)	2 (3.4%)
ストーカー行為等	5 (14.3%)	7 (20.0%)	2 (5.7%)	2 (5.7%)	1 (2.9%)	2 (5.7%)	0 (0.0%)
児童虐待	17 (18.5%)	13 (14.1%)	0 (0.0%)	15 (16.3%)	63 (68.5%)	7 (7.6%)	3 (3.3%)
性的な被害	9 (14.8%)	4 (6.6%)	1 (1.6%)	3 (4.9%)	19 (31.1%)	5 (8.2%)	2 (3.3%)
交通事故	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	2 (5.9%)	1 (2.9%)	15 (44.1%)	2 (5.9%)
暴力被害	9 (19.6%)	6 (13.0%)	1 (2.2%)	4 (8.7%)	9 (19.6%)	11 (23.9%)	0 (0.0%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）のみ。

図表 5-19 犯罪の時期別、どこにも（誰にも）相談しなかった理由（複数回答）【SC2、Q11】

	全体	どこに相談すればよいかわからなかった	自分が被害にあっていないことに気付かなかった	相談するほどのことではないと思った	自分で解決できると思った	被害について誰かに話すことが恥ずかしかった	他人に知られたくなかった	おおごとにしたくなかった
3年以内	25 (28.0%)	7 (28.0%)	2 (8.0%)	7 (28.0%)	7 (28.0%)	4 (16.0%)	4 (16.0%)	5 (20.0%)
3～10年以内	44 (31.8%)	14 (31.8%)	4 (9.1%)	12 (27.3%)	8 (18.2%)	5 (11.4%)	5 (11.4%)	4 (9.1%)
それ以前	293 (21.5%)	63 (21.5%)	39 (13.3%)	58 (19.8%)	28 (9.6%)	36 (12.3%)	41 (14.0%)	45 (15.4%)

	言っても何もしてくれない・役に立たないと思った	加害者からの仕返しが怖かった	加害者から相談するなど脅されていた	自分が悪いと思った、自分に責任があると思った	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	特に理由は無い	その他
3年以内	8 (32.0%)	7 (28.0%)	3 (12.0%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)	5 (20.0%)	0 (0.0%)
3～10年以内	7 (15.9%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	4 (9.1%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)
それ以前	48 (16.4%)	32 (10.9%)	3 (1.0%)	31 (10.6%)	91 (31.1%)	38 (13.0%)	11 (3.8%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）のみ。

図表 5-20 加害者との面識の有無別、どこにも（誰にも）相談しなかった理由（複数回答）【Q3、Q11】

	全体	どこに相談すればよいかわからなかった	自分が被害にあっていないことに気付かなかった	相談するほどのことではないと思った	自分で解決できると思った	被害について誰かに話すことが恥ずかしかった	他人に知られたくなかった	おおごとにしたくなかった
面識あり	204 (27.5%)	56 (27.5%)	32 (15.7%)	42 (20.6%)	29 (14.2%)	26 (12.7%)	34 (16.7%)	38 (18.6%)
面識なし	158 (17.7%)	28 (17.7%)	13 (8.2%)	35 (22.2%)	14 (8.9%)	19 (12.0%)	16 (10.1%)	16 (10.1%)

	言っても何もしてくれない・役に立たないと思った	加害者からの仕返しが怖かった	加害者から相談するなど脅されていた	自分が悪いと思った、自分に責任があると思った	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	特に理由は無い	その他
面識あり	37 (18.1%)	31 (15.2%)	4 (2.0%)	24 (11.8%)	65 (31.9%)	14 (6.9%)	4 (2.0%)
面識なし	26 (16.5%)	9 (5.7%)	3 (1.9%)	11 (7.0%)	30 (19.0%)	34 (21.5%)	8 (5.1%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した方（362人）のみ。

(5)相談しやすくなるための条件

ア. 警察に通報・相談しやすくなるための条件

警察に通報・相談しやすくなるための条件について、犯罪被害者等全体では、「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」（37.2%）との回答比率が最も高く、次いで「相談窓口が近くにあること」（30.9%）となっている。犯罪被害類型別にみると、財産被害では「相談窓口が近くにあること」（31.4%）、ストーカー、配偶者暴力、性的な被害、児童虐待では「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」（それぞれ 51.2%、42.1%、40.0%、38.1%）との回答比率が最も高くなっている（図表 5-2 1）。

回答者の性別ごとにみると、「希望する性別の職員に対応してもらえること」「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」との回答比率は、女性が男性を同 19.2 ポイント、14.0 ポイント上回っている（図表 5-2 2）。

回答者の年齢層別にみると、20代は「メールやソーシャルメディア（X（旧 Twitter）や LINE など）で相談できること」、30～40代、60～70代以上は「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」、50代は「相談窓口が近くにあること」との回答比率が高くなっている（図表 5-2 3）。

被害の時期別にみると、全ての時期で「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」との回答比率が高くなっている。「3年以内」では「夜間や休日でも相談できること」との回答比率も同様に高い（図表 5-2 4）。

図表 5-2 1 犯罪被害類型別、警察に相談しやすくなるための条件（複数回答）【SC1/SC3、Q12】

全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア（X（旧 Twitter）や LINE など）で相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	その他	思いつくことはない
犯罪被害者等	511 98 (19.2%)	190 (37.2%)	103 (20.2%)	119 (23.3%)	158 (30.9%)	142 (27.8%)	107 (20.9%)	19 (3.7%)	162 (31.7%)
財産被害	51 5 (9.8%)	12 (23.5%)	9 (17.6%)	14 (27.5%)	16 (31.4%)	13 (25.5%)	5 (9.8%)	1 (2.0%)	15 (29.4%)
配偶者暴力	95 19 (20.0%)	40 (42.1%)	20 (21.1%)	16 (16.8%)	30 (31.6%)	30 (31.6%)	24 (25.3%)	2 (2.1%)	32 (33.7%)
ストーカー行為等	84 18 (21.4%)	43 (51.2%)	20 (23.8%)	20 (23.8%)	25 (29.8%)	27 (32.1%)	15 (17.9%)	3 (3.6%)	14 (16.7%)
児童虐待	105 19 (18.1%)	40 (38.1%)	21 (20.0%)	29 (27.6%)	38 (36.2%)	32 (30.5%)	29 (27.6%)	8 (7.6%)	33 (31.4%)
性的な被害	105 30 (28.6%)	42 (40.0%)	24 (22.9%)	26 (24.8%)	34 (32.4%)	24 (22.9%)	23 (21.9%)	3 (2.9%)	30 (28.6%)
交通事故	16 0 (0.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (75.0%)
暴力被害	55 7 (12.7%)	12 (21.8%)	8 (14.5%)	12 (21.8%)	11 (20.0%)	14 (25.5%)	11 (20.0%)	2 (3.6%)	26 (47.3%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

図表 5-2 2 性別、警察に相談しやすくなるための条件（複数回答）【F1、Q12】

	全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など)、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなどで相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	その他	思いつくことはない
男性	219	18 (8.2%)	64 (29.2%)	35 (16.0%)	49 (22.4%)	61 (27.9%)	56 (25.6%)	41 (18.7%)	7 (3.2%)	87 (39.7%)
女性	292	80 (27.4%)	126 (43.2%)	68 (23.3%)	70 (24.0%)	97 (33.2%)	86 (29.5%)	66 (22.6%)	12 (4.1%)	75 (25.7%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

図表 5-2 3 年齢層別、警察に相談しやすくなるための条件（複数回答）【F2、Q12】

	全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など)、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなどで相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	その他	思いつくことはない
20代	26	4 (15.4%)	5 (19.2%)	6 (23.1%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)	5 (19.2%)	3 (11.5%)	0 (0.0%)	12 (46.2%)
30代	70	15 (21.4%)	33 (47.1%)	25 (35.7%)	20 (28.6%)	26 (37.1%)	22 (31.4%)	15 (21.4%)	3 (4.3%)	14 (20.0%)
40代	135	27 (20.0%)	53 (39.3%)	30 (22.2%)	33 (24.4%)	42 (31.1%)	39 (28.9%)	28 (20.7%)	5 (3.7%)	43 (31.9%)
50代	150	33 (22.0%)	54 (36.0%)	22 (14.7%)	40 (26.7%)	56 (37.3%)	47 (31.3%)	38 (25.3%)	7 (4.7%)	44 (29.3%)
60代	96	15 (15.6%)	32 (33.3%)	17 (17.7%)	20 (20.8%)	22 (22.9%)	22 (22.9%)	15 (15.6%)	4 (4.2%)	33 (34.4%)
70代以上	34	4 (11.8%)	13 (38.2%)	3 (8.8%)	3 (8.8%)	7 (20.6%)	7 (20.6%)	8 (23.5%)	0 (0.0%)	16 (47.1%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

図表 5-2 4 被害の時期別、警察に相談しやすくなるための条件（複数回答）【SC2、Q12】

	全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア（X(旧Twitter)やLINEなど）で相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	その他	思いつくことはない
3年以内	49	10 (20.4%)	18 (36.7%)	11 (22.4%)	13 (26.5%)	13 (26.5%)	18 (36.7%)	13 (26.5%)	2 (4.1%)	13 (26.5%)
3～10年以内	65	13 (20.0%)	28 (43.1%)	14 (21.5%)	16 (24.6%)	18 (27.7%)	17 (26.2%)	15 (23.1%)	0 (0.0%)	17 (26.2%)
それ以前	397	75 (18.9%)	144 (36.3%)	78 (19.6%)	90 (22.7%)	127 (32.0%)	107 (27.0%)	79 (19.9%)	17 (4.3%)	132 (33.2%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で「警察には通報しなかった」「通報したかどうか覚えていない・わからない」と回答し、かつ SC 5（相談した相手・機関）で「警察」と回答しなかった方（511人）のみ。

イ. 地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件

地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件について、犯罪被害者等全体では、「無料で相談できること」（37.8%）との回答比率が最も高く、次いで「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」（37.3%）となっている。犯罪被害類型別にみると、財産被害では「相談窓口が近くにあること」（36.4%）、配偶者暴力では「無料で相談できること」（41.0%）、「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」（40.0%）、ストーカー、児童虐待では「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」（それぞれ 51.3%、40.7%）、性的な被害では「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」「相談窓口が近くにあること」（同 38.5%）、交通事故では「無料で相談できること」（29.5%）、暴力被害では「夜間や休日でも相談できること」（40.8%）との回答比率が高くなっている（図表 5-2 5）。

回答者の性別ごとにみると、「ア.警察に通報・相談しやすくなるための条件」と同様に、「希望する性別の職員に対応してもらえること」、「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」との回答比率は、女性が男性をそれぞれ 19.3 ポイント、11.7 ポイント上回っている（図表 5-2 6）。

回答者の年齢層別にみると、20～30代、70代以上は「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」、40代は「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」「無料で相談できること」、50代は「無料で相談できること」、60代は「夜間や休日でも相談できること」との回答比率が高くなっている（図表 5-2 7）。

被害の時期別にみると、「3年以内」「3～10年以内」では「周りの人に知られずに相談できること（個室での対応など）、プライバシーが守られること」、「それ以前」では「無料で相談できること」との回答比率が最も高くなっている（図表 5-2 8）。

図表 5-25 犯罪被害類型別、地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件

(複数回答) 【SC1/SC3、Q13】

	全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など、プライバシーが守られること)	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなどで相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	無料で相談できること	その他	思いつくことはない
犯罪被害者等	762	169 (22.2%)	284 (37.3%)	159 (20.9%)	211 (27.7%)	260 (34.1%)	251 (32.9%)	166 (21.8%)	288 (37.8%)	14 (1.8%)	218 (28.6%)
財産被害	129	21 (16.3%)	43 (33.3%)	27 (20.9%)	35 (27.1%)	47 (36.4%)	42 (32.6%)	21 (16.3%)	46 (35.7%)	2 (1.6%)	33 (25.6%)
配偶者暴力	105	20 (19.0%)	42 (40.0%)	23 (21.9%)	29 (27.6%)	35 (33.3%)	29 (27.6%)	27 (25.7%)	43 (41.0%)	0 (0.0%)	33 (31.4%)
ストーカー行為等	117	36 (30.8%)	60 (51.3%)	33 (28.2%)	35 (29.9%)	47 (40.2%)	45 (38.5%)	27 (23.1%)	54 (46.2%)	0 (0.0%)	16 (13.7%)
児童虐待	108	22 (20.4%)	44 (40.7%)	23 (21.3%)	32 (29.6%)	40 (37.0%)	35 (32.4%)	28 (25.9%)	41 (38.0%)	5 (4.6%)	33 (30.6%)
性的な被害	117	40 (34.2%)	45 (38.5%)	33 (28.2%)	37 (31.6%)	45 (38.5%)	38 (32.5%)	32 (27.4%)	44 (37.6%)	2 (1.7%)	31 (26.5%)
交通事故	88	9 (10.2%)	17 (19.3%)	3 (3.4%)	21 (23.9%)	17 (19.3%)	22 (25.0%)	7 (8.0%)	26 (29.5%)	0 (0.0%)	40 (45.5%)
暴力被害	98	21 (21.4%)	33 (33.7%)	17 (17.3%)	22 (22.4%)	29 (29.6%)	40 (40.8%)	24 (24.5%)	34 (34.7%)	5 (5.1%)	32 (32.7%)

※対象：SC 5（相談した相手・機関）で「弁護士・日本司法支援センター（法テラス）」、「地方公共団体の総合的対応窓口」、「児童相談所」、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」、「その他の行政機関・福祉機関の相談窓口」、「民間の犯罪被害者支援団体」、「医療機関」と回答しなかった方（762人）のみ。

図表 5-26 性別、地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件

(複数回答) 【F1、Q13】

	全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など、プライバシーが守られること)	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなどで相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	無料で相談できること	その他	思いつくことはない
男性	387	49 (12.7%)	122 (31.5%)	57 (14.7%)	95 (24.5%)	121 (31.3%)	117 (30.2%)	67 (17.3%)	114 (29.5%)	4 (1.0%)	133 (34.4%)
女性	375	120 (32.0%)	162 (43.2%)	102 (27.2%)	116 (30.9%)	139 (37.1%)	134 (35.7%)	99 (26.4%)	174 (46.4%)	10 (2.7%)	85 (22.7%)

※対象：SC 5（相談した相手・機関）で「弁護士・日本司法支援センター（法テラス）」、「地方公共団体の総合的対応窓口」、「児童相談所」、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」、「その他の行政機関・福祉機関の相談窓口」、「民間の犯罪被害者支援団体」、「医療機関」と回答しなかった方（762人）のみ。

図表 5-27 年齢層別、地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件

(複数回答) 【F2、Q13】

全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など)、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなど)で相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	無料で相談できること	その他	思いつくことはない	
20代	34 (17.6%)	6 (35.3%)	12 (23.5%)	8 (20.6%)	7 (17.6%)	6 (20.6%)	7 (20.6%)	4 (11.8%)	11 (32.4%)	1 (2.9%)	10 (29.4%)
30代	97 (32.0%)	31 (47.4%)	46 (30.9%)	30 (29.9%)	29 (40.2%)	39 (35.1%)	34 (24.7%)	24 (45.4%)	44 (41.1%)	4 (4.1%)	21 (21.6%)
40代	205 (23.9%)	49 (39.0%)	80 (22.0%)	45 (29.3%)	60 (34.6%)	71 (33.7%)	69 (22.9%)	47 (39.0%)	80 (1.0%)	2 (26.3%)	54 (26.3%)
50代	211 (23.7%)	50 (36.5%)	77 (23.2%)	49 (31.3%)	66 (37.4%)	79 (37.0%)	78 (25.6%)	54 (41.7%)	88 (1.4%)	3 (29.4%)	62 (29.4%)
60代	156 (17.9%)	28 (30.1%)	47 (13.5%)	21 (23.1%)	36 (30.8%)	48 (32.7%)	51 (15.4%)	24 (30.1%)	47 (2.6%)	4 (2.6%)	50 (32.1%)
70代以上	59 (8.5%)	5 (37.3%)	22 (10.2%)	6 (22.0%)	13 (28.8%)	17 (20.3%)	12 (22.0%)	13 (30.5%)	18 (0.0%)	0 (35.6%)	21 (35.6%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「弁護士・日本司法支援センター（法テラス）」、「地方公共団体の総合的対応窓口」、「児童相談所」、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」、「その他の行政機関・福祉機関の相談窓口」、「民間の犯罪被害者支援団体」、「医療機関」と回答しなかった方（762人）のみ。

図表 5-28 被害の時期別、地方公共団体や民間の相談機関・団体等に相談しやすくなるための条件

(複数回答) 【SC2、Q13】

全体	希望する性別の職員に対応してもらえること	周りの人に知られずに相談できること(個室での対応など)、プライバシーが守られること	メールやソーシャルメディア(X(旧Twitter)やLINEなど)で相談できること	相談窓口の場所や時間が日頃から広報・周知されること	相談窓口が近くにあること	夜間や休日でも相談できること	相談した後でカウンセリングも受けられること	無料で相談できること	その他	思いつくことはない	
3年以内	82 (19.5%)	16 (40.2%)	33 (15.9%)	13 (26.8%)	22 (36.6%)	30 (26.8%)	22 (24.4%)	20 (35.4%)	29 (0.0%)	0 (20.7%)	17 (20.7%)
3~10年以内	126 (25.4%)	32 (46.8%)	59 (27.0%)	34 (31.7%)	40 (31.7%)	40 (34.9%)	44 (24.6%)	31 (43.7%)	55 (2.4%)	3 (15.1%)	19 (15.1%)
それ以前	554 (21.8%)	121 (34.7%)	192 (20.2%)	112 (26.9%)	149 (34.3%)	190 (33.4%)	185 (20.8%)	115 (36.8%)	204 (2.0%)	11 (2.0%)	182 (32.9%)

※対象：SC5（相談した相手・機関）で「弁護士・日本司法支援センター（法テラス）」、「地方公共団体の総合的対応窓口」、「児童相談所」、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」、「その他の行政機関・福祉機関の相談窓口」、「民間の犯罪被害者支援団体」、「医療機関」と回答しなかった方（762人）のみ。

(6)事件後に傷つけられた、支えられたと感じた経験と対象

ア. 傷つけられたと感じた経験と対象

事件後に人々の言動や態度によって気持ちが傷つけられたと感じたことがあるか、ある場合その相手について、犯罪被害者等全体では「あてはまるものはない」との回答比率が70.6%となっており、犯罪被害類型別にみると、児童虐待、配偶者暴力、暴力被害では「家族、親族」（それぞれ55.0%、23.7%、20.2%）との回答比率が高く、配偶者暴力では「加害者関係者」（23.7%）も高くなっている（図表5-29）。

被害の時期別にみると、全ての時期で「家族、親族」「加害者関係者」との回答比率が高い（図表5-30）。

図表 5-29 犯罪被害類型別、事件後に受けた言動等で傷つけられた経験・相手
(複数回答)【SC1/SC3、Q62】

	全体	家族、親族	友人、知人	同じ職場、学校などに通っている人	学校や塾の先生	近所、地域の人	警察官・警察職員	検察官・検察庁職員	裁判官・裁判所職員	弁護士
犯罪被害者等	819	141 (17.2%)	61 (7.4%)	58 (7.1%)	36 (4.4%)	31 (3.8%)	55 (6.7%)	7 (0.9%)	9 (1.1%)	9 (1.1%)
財産被害	139	6 (4.3%)	5 (3.6%)	6 (4.3%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)	9 (6.5%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	4 (2.9%)
配偶者暴力	114	27 (23.7%)	11 (9.6%)	7 (6.1%)	2 (1.8%)	4 (3.5%)	7 (6.1%)	1 (0.9%)	4 (3.5%)	0 (0.0%)
ストーカー行為等	125	10 (8.0%)	3 (2.4%)	7 (5.6%)	2 (1.6%)	2 (1.6%)	6 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
児童虐待	109	60 (55.0%)	17 (15.6%)	20 (18.3%)	19 (17.4%)	12 (11.0%)	12 (11.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
性的な被害	119	12 (10.1%)	7 (5.9%)	3 (2.5%)	2 (1.7%)	1 (0.8%)	4 (3.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
交通事故	104	4 (3.8%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (6.7%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	2 (1.9%)
暴力被害	109	22 (20.2%)	17 (15.6%)	14 (12.8%)	9 (8.3%)	9 (8.3%)	10 (9.2%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)

	日本司法支援センター(法テラス)の職員	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターのスタッフ	地方公共団体の職員	児童相談所のスタッフ	医療機関のスタッフ	民間団体の人	報道関係者	世間の声	加害者関係者	あてはまるものはない
犯罪被害者等	7 (0.9%)	4 (0.5%)	9 (1.1%)	7 (0.9%)	11 (1.3%)	4 (0.5%)	10 (1.2%)	19 (2.3%)	104 (12.7%)	578 (70.6%)
財産被害	4 (2.9%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	4 (2.9%)	8 (5.8%)	117 (84.2%)
配偶者暴力	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	3 (2.6%)	27 (23.7%)	67 (58.8%)
ストーカー行為等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	2 (1.6%)	12 (9.6%)	98 (78.4%)
児童虐待	1 (0.9%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	4 (3.7%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	6 (5.5%)	27 (24.8%)	43 (39.4%)
性的な被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)	7 (5.9%)	98 (82.4%)
交通事故	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (9.6%)	84 (80.8%)
暴力被害	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	13 (11.9%)	71 (65.1%)

図表 5-30 被害の時期別、事件後に受けた言動等で傷つけられた経験・相手 (複数回答)【SC2、Q62】

	全体	家族、親族	友人、知人	同じ職場、学校などに通っている人	学校や塾の先生	近所、地域の人	警察官・警察職員	検察官・検察庁職員	裁判官・裁判所職員	弁護士
3年以内	98	15 (15.3%)	8 (8.2%)	6 (6.1%)	4 (4.1%)	3 (3.1%)	9 (9.2%)	4 (4.1%)	3 (3.1%)	5 (5.1%)
3~10年以内	143	26 (18.2%)	11 (7.7%)	10 (7.0%)	5 (3.5%)	4 (2.8%)	14 (9.8%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
それ以前	578	100 (17.3%)	42 (7.3%)	42 (7.3%)	27 (4.7%)	24 (4.2%)	32 (5.5%)	1 (0.2%)	6 (1.0%)	3 (0.5%)

	日本司法支援センター(法テラス)の職員	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターのスタッフ	地方公共団体の職員	児童相談所のスタッフ	医療機関のスタッフ	民間団体の人	報道関係者	世間の声	加害者関係者	あてはまるものはない
3年以内	4 (4.1%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	7 (7.1%)	18 (18.4%)	63 (64.3%)
3~10年以内	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	3 (2.1%)	20 (14.0%)	96 (67.1%)
それ以前	2 (0.3%)	2 (0.3%)	4 (0.7%)	3 (0.5%)	6 (1.0%)	2 (0.3%)	3 (0.5%)	9 (1.6%)	66 (11.4%)	419 (72.5%)

イ. 支えられたと感じた経験と対象

事件後に人々の言動や態度によって精神的・情緒的に支えられたと感じたことがあるか、ある場合その相手について、犯罪被害者等全体では「あてはまるものはない」との回答比率が52.7%となっており、犯罪被害類型別にみると、全ての類型で「家族、親族」「友人、知人」との回答比率が高く、ストーカー、交通事故では「同じ職場、学校などに通っている人」との回答比率も高くなっている（図表5-31）。

被害の時期別にみても、全ての時期で「家族、親族」「友人、知人」との回答比率が高くなっている（図表5-32）。

図表 5-3 1 犯罪被害類型別、事件後に受けた言動等で支えられた経験・相手

（複数回答）【SC1/SC3、Q62】

	全体	家族、親族	友人、知人	同じ職場、学校などに通っている人	学校や塾の先生	近所、地域の人の人	警察官・警察職員	検察官・検察庁職員	裁判官・裁判所職員	弁護士
犯罪被害者等	819	245 (29.9%)	209 (25.5%)	114 (13.9%)	39 (4.8%)	51 (6.2%)	78 (9.5%)	20 (2.4%)	17 (2.1%)	45 (5.5%)
財産被害	139	46 (33.1%)	34 (24.5%)	21 (15.1%)	4 (2.9%)	12 (8.6%)	23 (16.5%)	4 (2.9%)	5 (3.6%)	8 (5.8%)
配偶者暴力	114	43 (37.7%)	31 (27.2%)	9 (7.9%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	8 (7.0%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	6 (5.3%)
ストーカー行為等	125	50 (40.0%)	48 (38.4%)	26 (20.8%)	5 (4.0%)	7 (5.6%)	22 (17.6%)	3 (2.4%)	3 (2.4%)	7 (5.6%)
児童虐待	109	13 (11.9%)	19 (17.4%)	7 (6.4%)	8 (7.3%)	5 (4.6%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
性的な被害	119	21 (17.6%)	18 (15.1%)	9 (7.6%)	2 (1.7%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.5%)
交通事故	104	41 (39.4%)	30 (28.8%)	23 (22.1%)	9 (8.7%)	10 (9.6%)	10 (9.6%)	3 (2.9%)	0 (0.0%)	13 (12.5%)
暴力被害	109	31 (28.4%)	29 (26.6%)	19 (17.4%)	9 (8.3%)	12 (11.0%)	13 (11.9%)	8 (7.3%)	6 (5.5%)	7 (6.4%)

	日本司法支援センター(法テラス)の職員	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターのスタッフ	地方公共団体の職員	児童相談所のスタッフ	医療機関のスタッフ	民間団体の人の人	報道関係者	世間の声	加害者関係者	あてはまるものはない
犯罪被害者等	19 (2.3%)	14 (1.7%)	17 (2.1%)	13 (1.6%)	60 (7.3%)	17 (2.1%)	10 (1.2%)	17 (2.1%)	13 (1.6%)	432 (52.7%)
財産被害	3 (2.2%)	4 (2.9%)	4 (2.9%)	6 (4.3%)	7 (5.0%)	5 (3.6%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)	4 (2.9%)	72 (51.8%)
配偶者暴力	3 (2.6%)	1 (0.9%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)	6 (5.3%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	3 (2.6%)	2 (1.8%)	52 (45.6%)
ストーカー行為等	8 (6.4%)	4 (3.2%)	3 (2.4%)	2 (1.6%)	7 (5.6%)	5 (4.0%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	48 (38.4%)
児童虐待	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	4 (3.7%)	0 (0.0%)	74 (67.9%)
性的な被害	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	1 (0.8%)	84 (70.6%)
交通事故	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.8%)	1 (1.0%)	20 (19.2%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	3 (2.9%)	47 (45.2%)
暴力被害	4 (3.7%)	4 (3.7%)	2 (1.8%)	3 (2.8%)	14 (12.8%)	3 (2.8%)	3 (2.8%)	4 (3.7%)	3 (2.8%)	55 (50.5%)

図表 5-3 2 被害の時期別、事件後に受けた言動等で支えられた経験・相手（複数回答）【SC2、Q62】

	全体	家族、親 族	友人、知 人	同じ職 場、学校 などに 通ってい る人	学校や塾 の先生	近所、地 域の人	警察官・ 警察職員	検察官・ 検察庁職 員	裁判官・裁 判所職員	弁護士
3年以内	98	40 (40.8%)	29 (29.6%)	18 (18.4%)	6 (6.1%)	12 (12.2%)	21 (21.4%)	8 (8.2%)	9 (9.2%)	13 (13.3%)
3～10年以内	143	53 (37.1%)	49 (34.3%)	33 (23.1%)	7 (4.9%)	12 (8.4%)	22 (15.4%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	11 (7.7%)
それ以前	578	152 (26.3%)	131 (22.7%)	63 (10.9%)	26 (4.5%)	27 (4.7%)	35 (6.1%)	10 (1.7%)	6 (1.0%)	21 (3.6%)

	日本司法 支援セン ター(法テ ラス)の職 員	性犯罪・ 性暴力被 害者のた めのワン ストップ支 援セン ターのス タッフ	地方公共 団体の職 員	児童相談 所のス タッフ	医療機関 のスタッ フ	民間団体 の人	報道関係 者	世間の声	加害者関 係者	あてはま るものは ない
3年以内	9 (9.2%)	4 (4.1%)	1 (1.0%)	3 (3.1%)	13 (13.3%)	6 (6.1%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	3 (3.1%)	40 (40.8%)
3～10年以内	6 (4.2%)	5 (3.5%)	7 (4.9%)	5 (3.5%)	14 (9.8%)	5 (3.5%)	4 (2.8%)	6 (4.2%)	2 (1.4%)	61 (42.7%)
それ以前	4 (0.7%)	5 (0.9%)	9 (1.6%)	5 (0.9%)	33 (5.7%)	6 (1.0%)	5 (0.9%)	7 (1.2%)	8 (1.4%)	331 (57.3%)